

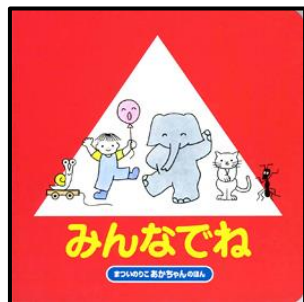


10月29日（火）、各学年で「なかよしデー」をしました。

「なかよしデー」では、自分自身を大切にするとともに、自分のことだけでなく、周りの友だちにも目を向け、相手の気持ちに気づいたり考えたりすることができるようになってほしいと願い、取り組んでいます。毎日の生活やあそびの中で、様々な事を感じ、経験して、人との心地よい関係を学びながら、少しずつ成長している子どもたちですが、成長に合わせて、また新たな課題が生まれてきます。普段の生活の中でも、友だちとの関わり方について「これってどうかなあ？」と思ったことは、子どもたちと話し合ったり、考えたりしています。今回は「ともだち」をテーマに各学年で話し合いをもちました。

3歳児「友だち、大好き！一緒にいろいろなことができるようになったね。」

自分のことで精いっぱいだったりんご組。友だちと一緒にいろいろなことをする楽しさや心地よさを感じられるようになってきました。絵本「みんなでね」（偕成社）を見て、動物たちがみんなでごす楽しい日常生活を共感しました。りんご組の子どもたちと重ねて、「みんなは毎日楽しい？」と聞くと「楽しい〜。」「友だちは好き？」と聞くと「大好き♡」と答えてくれます。友だちと一緒にいろいろな経験をしながら、育っている子どもたちです。最後にふれあい遊びをしました。2人組になり、友だちの顔を優しく触りながら楽しみました。安心できる友だちがいるクラスになれば嬉しいなと思います。



運動会が終わり、クラスの集団でいろいろなことを経験した子どもたちです。友だちに励ましてもらったり、応援したり、一緒に楽しんだり、頑張ることもできたり・・・友だちの存在の大きさを感ずることができている日々なのかなと思っています。一人ではできないことも友だちと一緒にならできたり、友だちと一緒にしたいから幼稚園が楽しみになったり、友だちっていいですね。でもこれから友だちとけんかしたり、嫌な思いをしたり、思うようにいかないこともたくさん経験すると思います。友だちを思う気持ちがあれば、乗り越えられるかな。幼稚園で友だちと一緒に育っていこうね。

4歳児「ひといぼっちで遊んでいる友だちいたら、どうする？自分ならどうしてほしい？」

絵本「コッコさんのともだち」（福音館）を見て、引っ込み思案の主人公、コッコさんの気持ちになって考えてみました。こっこさんと同じようにみんなの輪になかなか入れないあみちゃんもいます。その二人と一緒に遊べるようになり、そこから少しずつ他の友だちとも遊べるようになっていくお話です。

「ひまわり組のみんなならどうする？」の問いかけに「一緒に手つなごうって言う。」とか、表情を見て「淋しそう・・・」と発言する子もいました。絵本を見ながら「一緒にあそぼって言ったらいいのに・・・」と絵本にいる友だちの気持ちになってつぶやいている子もいました。また、「友だちとけんかしたことある？」「けんかしたら、どうするの？」と聞くと、「仲直りしたらいいねん。」「謝る時もあるよ。」「やめてって言う！」とけんかして終わりではなく様々な思いを伝えて解決している様子を伝えてくれました。自分のことだけではなく、少しずつ周りが見えてくる年齢です。

友だちをほっておかない、周りに気付いて声を掛けられるような子どもたちになってくれることを願っています。



5歳児「ともだちってなに？」「ともだちってどんなそんざい？」

運動会を終え、友だちと力を合わせる大切さや、達成感、喜び励まし合う事を知った子ども達。「友だちってなに？」「ともだちってどんな存在？」をテーマに話をしました。

「友だちのここが好き」「かっこいい」など友だちの良いところや、反対に「ここは嫌いやなあ」「友だちにどう思われているのかが分からない」「自分の姿は見えないからどんな風に見えるのかな？」などの意見がでました。でも、改めて「友だちってなに？」と聞くと、きっと頭や心の中では分かっているけれど、言葉にする事が難しく、「分からない」の答えが多かったです。これからも友だちを大切にしながら力を合わせて何にでもチャレンジし、励まし合い喜び合える事ができる子どもたちでいて欲しいと思います。

